

導入機器等仕様

運用環境・業務内容は以下を想定

クローズドなネットワークでの使用。ただし、将来インターネット接続の予定あり。

①ファイルサーバー（1台）

- ・定期的バックアップの設定が可能なこと。
- ・LANインターフェースにより同時導入ノートパソコンに接続すること。
- ・最大接続パソコン台数 5台

機種	メーカー（国内企業・外資系企業）や機種は特に指定しないが、メーカーカタログ等による公表がされているものとする。
CPU	Intel Xeon E3-1200v3クラス以上であること。 動作周波数 2GHz以上であること。
メモリ	4GB 以上であること
HDD	500GB 以上のHDD 3台で構成されること（実使用可能容量1TB 以上）。 ハードウェアRAID (RAID1以上)の設定とし、障害発生時のデータ保全対応していること。
光学ドライブ	DVD-ROMドライブとすること。
インターフェース	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-Tに対応していること。
USB	USB2.0以上に対応していること。2ポート以上。
OS	Microsoft Windows Server 2016 をプリインストール済みであること。
サーバーユーザー CAL	5アクセスライセンス分を用意すること。
形状	タワー型とすること。（既設ラックに収納可能なサイズ、3.5インチ程度）
電源	100Vの電源電圧に対応すること。
冷却ファン	搭載していること。
キーボード	109キーボード（日本語対応）
マウス	光学式スクロールマウス
無停電電源装置 （UPS）	750W 停電時にサーバを自動シャットダウンし、復電後に自動起動する機能を備えていること。 ファイルサーバと周辺ハードウェアをすべてカバーし、停電時に安全に自動シャットダウンできる容量を有すること。 電源管理用ソフトウェア、サーバとの接続ケーブル等を付属すること。
外付HDD （バックアップ用）	2TB 以上（BUFFALO Tera Station TS-WX2.0TL/R1もしくは同等の機能を有するもの。実使用容量1TB以上。） RAID (RAID1以上)の設定とし、障害発生時のデータ保全対応していること。 定期的に自動バックアップを取る（必要なソフトウェアがあれば用意しインストールすること）。
その他	既設サーバのデータを安全に移行すること。 ホットプラグ対応であること。 既設外付バックアップ用HDDに接続し、必要な設定を行うこと。 同時導入のノートパソコンに接続し、必要な設定を行うこと。 自動的に定時システムおよびデータのバックアップを取るよう設定すること。

	(1日1回定時バックアップを取るのに必要なソフトウェアを用意しインストールすること)。 容易に復旧が可能であるようにすること。 リカバリ起動用ディスクを添付すること。
接続・設定	導入ノートパソコンに接続すること(既設ハブを使用)。 OSのインストール、ハードウェアRAIDの設定

②ノート型パソコン(5台)

- ・LANインターフェースにより同時導入のサーバーに接続すること。

筐体	ノート型パソコン メーカー(国内企業・外資系企業)や機種は特に指定しないが、メーカーカタログ等による公表がされているものとする。
CPU	インテル社製 Celeron1000M(1.8GHz)相当以上のもの。 ただし、同等性能を証明できるものでも可とする。
メインメモリ容量	4GB以上のメモリを有すること。(増設対応可)
内蔵HDD容量	250GB以上
光学ドライブ	DVDスーパーマルチドライブ(1台)
LAN	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-Tに対応していること。無線LANのみは不可。
インターフェース	USB2.0以上対応で2ポート以上を標準装備とする。
ディスプレイ	15.6型TFT液晶とする。
キーボード	日本語に対応したキーボードであること。
マウス	USB光学式スクロールマウス
OS	Microsoft Windows 10 Professional(64bit)日本語版
電源等	商用電源100Vで利用できること。 外部電源が使用できない場合に対応するバッテリーを内蔵附属していること。
ソフトウェア	以下がセットアップされていること。台数分のライセンスで対応すること。 初期設定を行うこと。 ・Microsoft Word2019、Excel2019、Access2019
ウィルス対策	ウィルス対策ソフト(ライセンスで対応すること。)
マニュアル	日本語であること。(媒体はCD-ROM等で提供されてもよい。)
リカバリディスク	システムのリカバリディスクを添付すること。 ・Windows 10 Professional 64bitでリカバリができること。 ・リカバリディスクが無い機種については受注者が台数分作成し、納入することを可とする。
接続・設定	導入サーバー及び既存会計システムサーバーに接続すること(既設ハブを使用)。 ユーザー設定及びネットワーク設定(IPアドレス等) インストールしたソフトウェアの初期設定等

③カラー複合機

- ・LANインターフェースにより同時導入パソコン、その他既設パソコンに接続すること。
- ・最大接続パソコン台数 14台

基本機能	機種	メーカー（国内企業・外資系企業）や機種は特に指定しないが、メーカーカタログ等による公表がされているものとする。
	排出速度	速度 A4横カラー/モノクロ40枚/分 程度以上
	解像度	600dpi × 600dpi 以上
	対応原稿サイズ	はがき～A3
	印刷方式	自動両面印刷が可能なこと。
	自動原稿送り装置	100枚程度搭載可能であること。
	ウォームアップ	2分以下
	ファーストコピータイム	カラー9秒以内/モノクロ7秒以内
電源	100V以下	
給紙方式	本体標準装備のものと合わせてA4とA3が出力でき、手差し印刷ができること。段数3段以上（手差しを含む）（A4が500枚以上ストックできること。）	
プリンター機能	対応OS Windows10以上が可能なこと。 自動両面印刷が可能なこと。 集約印刷が可能なこと。 100BASE-TX対応。 バッファパスユニット、ステイプルフィニッシャーが附帯されていること。	
FAX機能	あり。PCからの直接送受信可能なこと。	
スキャナ機能	あり。解像度600dpiが可能なこと。 本体からネットワーク上のPCに直接スキャナデータ送信可能なこと。	
接続、設定	パソコンとの接続配線、設定等 必要なケーブル等配線機材等については用意すること。	
最低複写枚数（現行）	モノクロ 10,000枚～20,000枚/月程度	
保守	5年間は故障時に無償での修理が可能であること 定期保守点検を含む。	